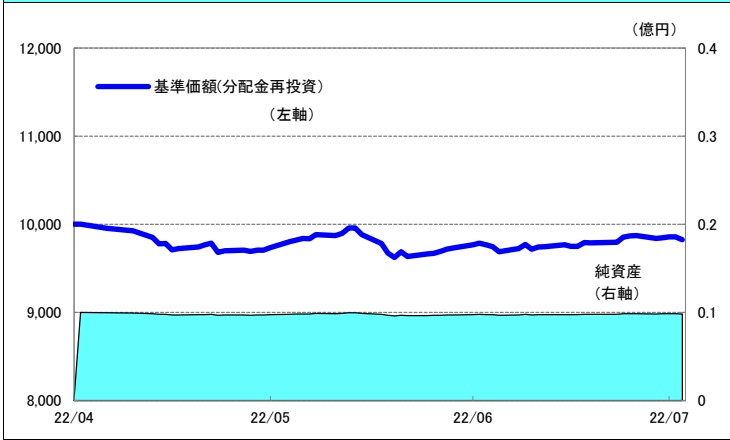


【レベル1】の運用実績

2022年7月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000 として指数化: 日次)



基準価額※ 9,827 円

※分配金控除後

純資産総額 0.1億円

- 信託設定日 2022年4月28日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、3月29日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)
- 初回決算日は2023年3月29日

騰落率

1カ月	0.8%
3カ月	-1.7%
6カ月	-
1年	-
3年	-
設定来	-1.7%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0 円

設定来 = 2022年4月28日以降

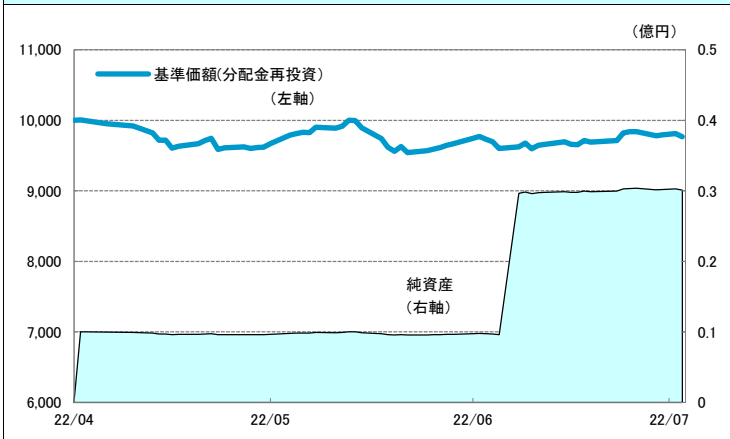
・左記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【レベル2】の運用実績

2022年7月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000 として指数化: 日次)



基準価額※ 9,766 円

※分配金控除後

純資産総額 0.3億円

- 信託設定日 2022年4月28日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、3月29日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)
- 初回決算日は2023年3月29日

騰落率

1カ月	0.7%
3カ月	-2.4%
6カ月	-
1年	-
3年	-
設定来	-2.3%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0 円

設定来 = 2022年4月28日以降

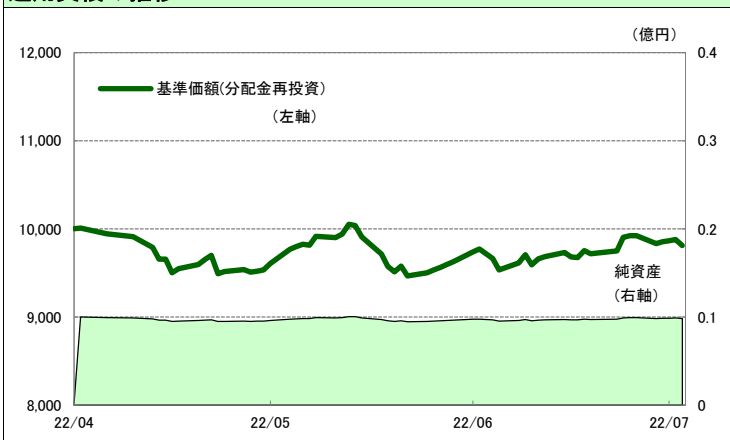
・左記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【レベル3】の運用実績

2022年7月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000 として指数化: 日次)



基準価額※ 9,812 円

※分配金控除後

純資産総額 0.1億円

- 信託設定日 2022年4月28日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、3月29日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)
- 初回決算日は2023年3月29日

騰落率

1カ月	1.5%
3カ月	-2.0%
6カ月	-
1年	-
3年	-
設定来	-1.9%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0 円

設定来 = 2022年4月28日以降

・左記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)。ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

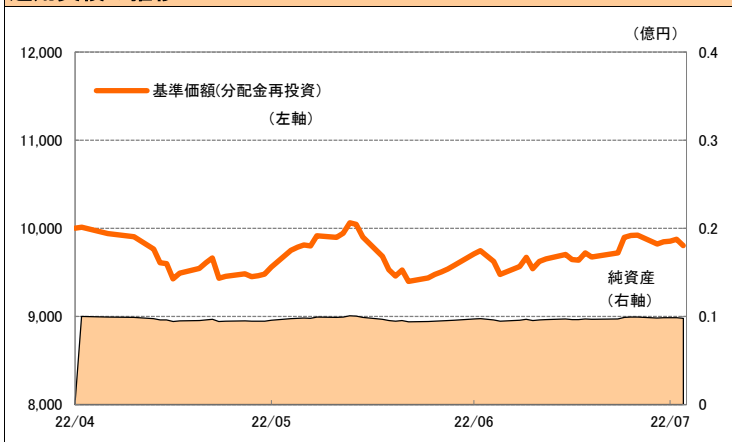
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

【レベル4】の運用実績

2022年7月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000 として指数化: 日次)



基準価額※ 9,803 円

※分配金控除後

純資産総額 0.1億円

- 信託設定日 2022年4月28日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、3月29日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)
- 初回決算日は2023年3月29日

騰落率

1ヵ月	1.8%
3ヵ月	-2.1%
6ヵ月	-
1年	-
3年	-
設定来	-2.0%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0 円

設定来 = 2022年4月28日以降

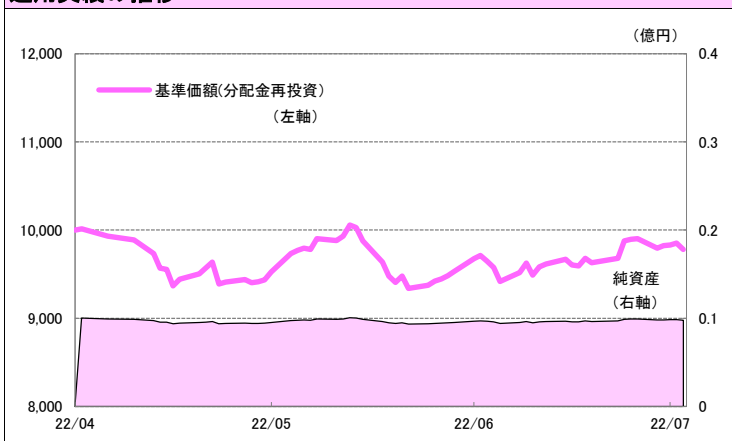
・左記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【レベル5】の運用実績

2022年7月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000 として指数化: 日次)



基準価額※ 9,782 円

※分配金控除後

純資産総額 0.1億円

- 信託設定日 2022年4月28日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、3月29日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)
- 初回決算日は2023年3月29日

騰落率

1ヵ月	2.1%
3ヵ月	-2.3%
6ヵ月	-
1年	-
3年	-
設定来	-2.2%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0 円

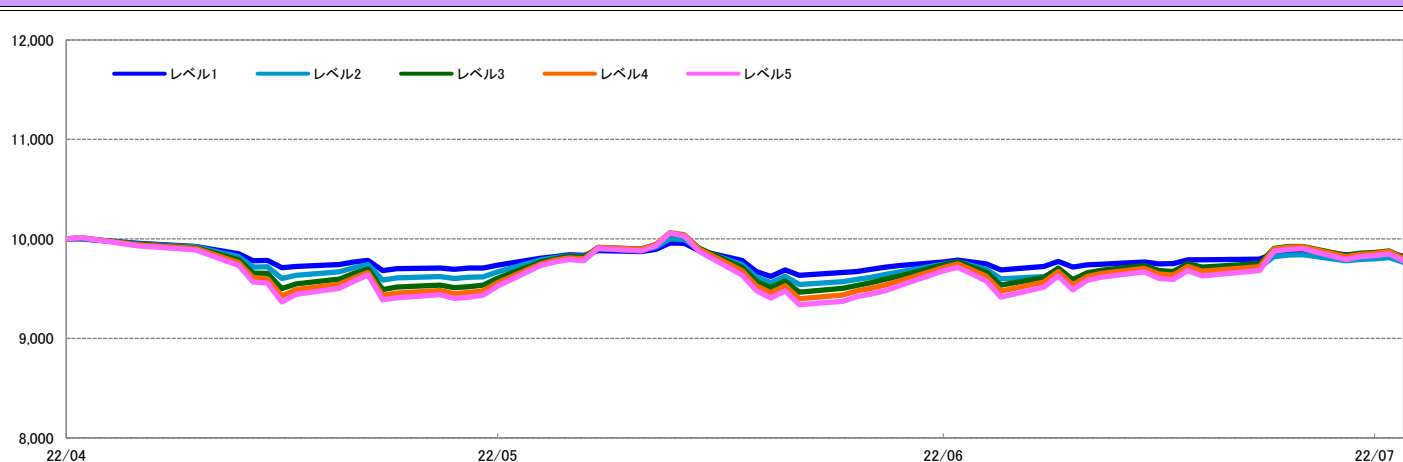
設定来 = 2022年4月28日以降

・左記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

5ファンドの基準価額(分配金再投資)の推移

(設定日前日 = 10,000 として指数化: 日次)

2022年7月29日 現在



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

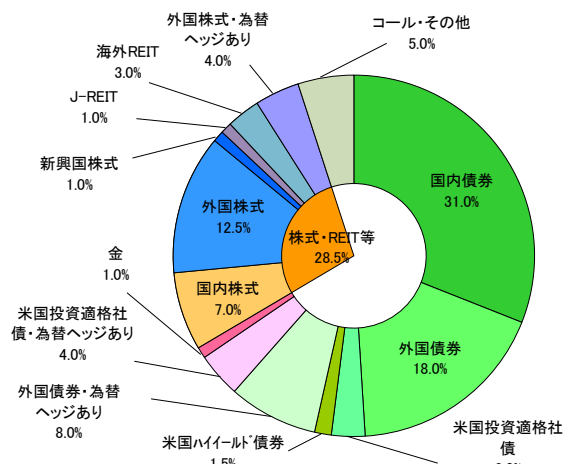
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

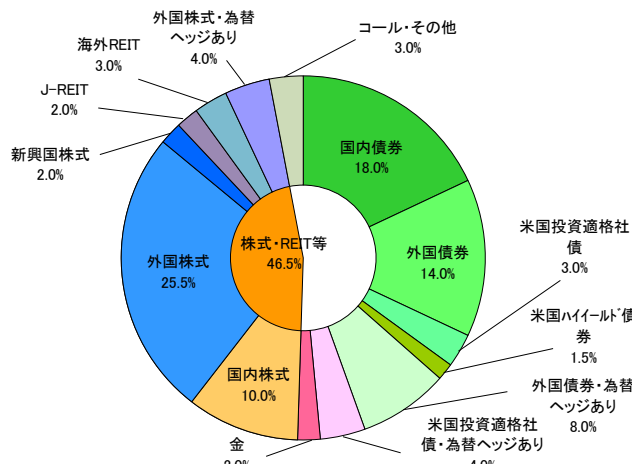
5ファンドの資産別配分(純資産比)

2022年7月29日 現在

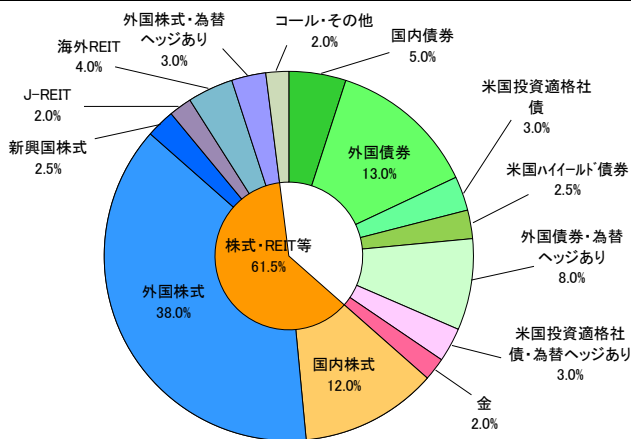
【レベル1】



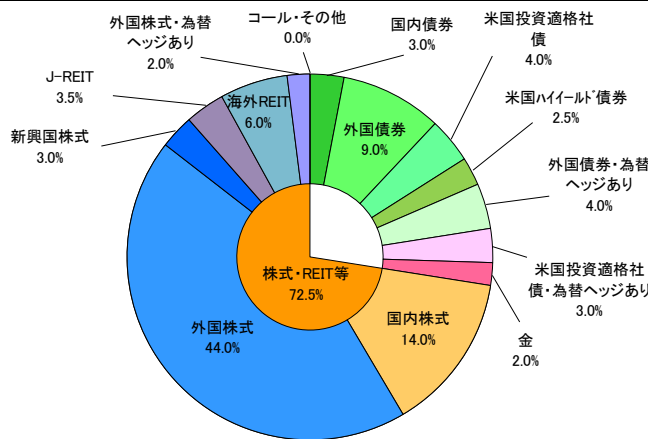
【レベル2】



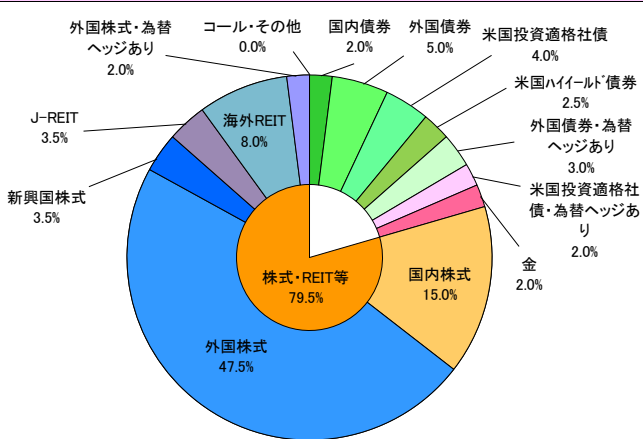
【レベル3】



【レベル4】



【レベル5】



・各ファンドが投資する各ETFへの投資比率に基づきます。  
 ・株式会社ウエルス・スクエアの助言による投資配分比率です。  
 ・2022年7月末基準より、コール・その他を円グラフに記載いたしました。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

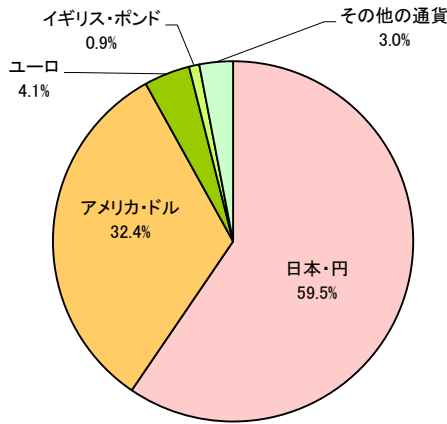
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

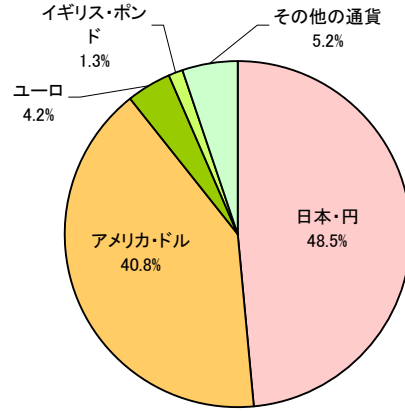
5ファンドの通貨別配分 (純資産比)

2022年7月29日 現在

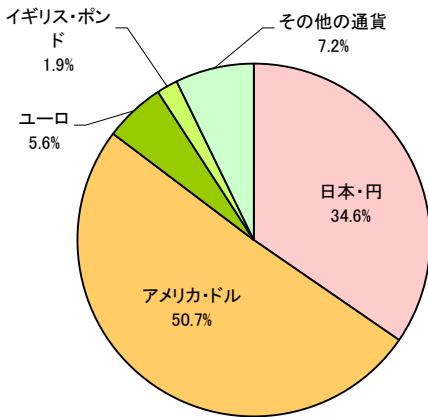
【レベル1】



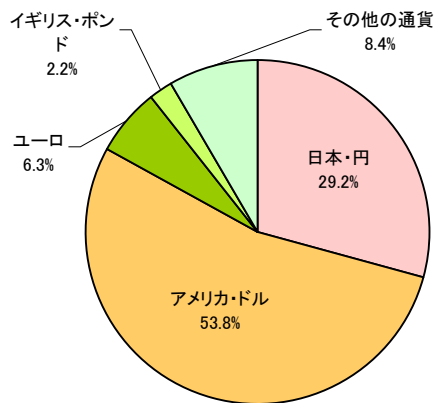
【レベル2】



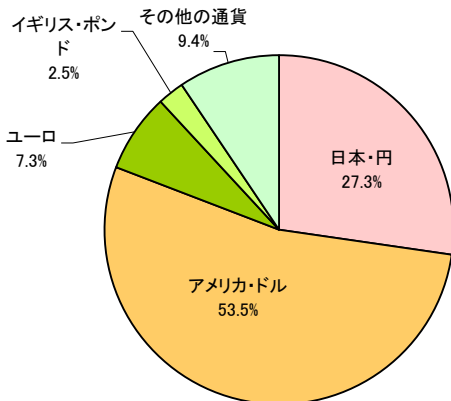
【レベル3】



【レベル4】



【レベル5】



・通貨別配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。  
・株式会社ウエルス・スクエアの助言による投資配分比率です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

5ファンドの組入上位5銘柄

2022年7月29日 現在

【レベル1】

投資信託名	純資産比
NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI総合連動型上場投信	30.2%
バンガード・米国短期国債ETF	17.6%
NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	11.5%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	6.1%
NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	6.1%

組入銘柄数： 15 銘柄

【レベル2】

投資信託名	純資産比
NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	23.8%
NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI総合連動型上場投信	17.2%
バンガード・米国短期国債ETF	16.5%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	8.1%
NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジあり)連動型上場投信	5.0%

組入銘柄数： 15 銘柄

【レベル3】

投資信託名	純資産比
NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	35.6%
バンガード・米国短期国債ETF	17.8%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	10.0%
NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジあり)連動型上場投信	5.0%
NEXT FUNDS 外国REIT・S&P先進国REIT指数(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	4.1%

組入銘柄数： 15 銘柄

【レベル4】

投資信託名	純資産比
NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	41.2%
バンガード・米国短期国債ETF	15.8%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	12.0%
NEXT FUNDS 外国REIT・S&P先進国REIT指数(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	6.3%
NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジあり)連動型上場投信	4.1%

組入銘柄数： 14 銘柄

【レベル5】

投資信託名	純資産比
NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	43.9%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	13.1%
バンガード・米国短期国債ETF	11.6%
NEXT FUNDS 外国REIT・S&P先進国REIT指数(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	8.3%
インベスコ QQQ信託シリーズ1	3.8%

組入銘柄数： 14 銘柄

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

## 先月の投資環境

## ○株式市場:

先進国株式および日本株式は、米国の過度な金融引き締め懸念が後退したことや、ロシアからの欧州向け天然ガス供給の再開見通しを受けて不安感が後退したことなどから上昇し、月間では値上がりとなりました。新興国株式は上旬、世界景気後退への懸念から下落しました。中旬も、中国における住宅購入者による未完成物件への住宅ローン返済拒否問題が嫌気されたことなどから軟調に推移しました。その後は、米国の過度な金融引き締めへの警戒感が後退したことなどが好感され反発したものの、月間で値下がりとなりました。

## ○債券市場:

米国債券は、7月の米PMI(購買担当者景気指数)が低下し景気後退懸念が高まったことや、米国の4-6月期実質GDP(国内総生産)成長率が2四半期連続のマイナス成長となったことなどを背景に堅調に推移し、月間で値上がりとなりました。欧州債券は、上旬、天然ガス価格の高騰に伴う欧州の景気後退懸念から上昇しました。その後も、7月のユーロ圏総合購買担当者景気指数の速報値が市場予想を下回ったことや、米国の過度な金融引き締め懸念が後退し、米国長期金利が低下したことなどを背景に堅調に推移し、月間で値上がりとなりました。日本債券は日銀による金融緩和策が継続する中、海外の債券利回り低下(価格は上昇)につれて債券利回りが低下し、月間で値上がりとなりました。高利回り債券は、米長期金利が低下したことなどを背景に、米国ハイ・イールド債、エマージング・マーケット債ともに月間では値上がりとなりました。

## ○REIT市場:

先進国REITは米国の過度な金融引き締め懸念が後退したことや、ロシアからの欧州向け天然ガス供給の再開見通しを受けて不安感が後退したことなどから上昇し、月間では値上がりとなりました。

## ○為替市場:

米ドルは、中旬にかけてはFRB(米連邦準備制度理事会)が積極的な金融引き締めを続けるとの見方から堅調に推移しましたが、FOMC(米連邦公開市場委員会)における政策金利の引き上げが市場予想と一致し、過度な金融引き締め懸念が後退したことなどから下落し、月間では円に対してほぼ横ばいとなりました。ユーロは、ロシアからの欧州向け天然ガス供給の再開見通しなどもあり過度なインフレ懸念が後退し、日欧の金利差が縮小したことなどから、月間で円に対して下落しました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

月間の騰落率(分配金再投資)は、レベル1~5はいずれも上昇となりました。

基準価額変動に対しては、レベル1~5において「NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信」などがプラスに影響しました。

株式会社ウエルス・スクエア(以下「ウエルス・スクエア」という)からの助言に基づき、組入投資信託証券への配分比率を見直した結果、主に「NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信」、「バンガード・米国短期国債ETF」、「iシェアーズ ゴールド・トラスト」などの組入比率を引き下げ、「NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジあり)連動型上場投信」などの組入比率を引き上げました。

## 今後の運用方針

(2022年7月29日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

ウエルス・スクエアによる以下のプロセスに従った助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券(ETF)への投資比率を決定します。

◆ウエルス・スクエア独自の定量的な手法により、上場投資信託証券が連動することを目指すインデックスを分析し、投資対象とする上場投資信託証券を選定します。なお、分析において為替ヘッジを行なう場合と為替ヘッジを行わない場合では異なるインデックスとして扱います。

◆長期的な見通しを基とした基本投資比率をベースに、短中期的な投資環境およびインデックスのリターン・リスクの特性を勘案して最終的な投資配分比率を決定します。なお、一部の上場投資信託証券への投資配分比率がゼロとなる場合があります。

◆投資対象とする上場投資信託証券については、定性評価・定量評価等を勘案し、適宜見直しを行いません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご負担頂きます。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

## ◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

## ファンドの特色

- 野村アセットマネジメント株式会社が投資一任業者として提供する資産運用サービス「ゴールベーススラップ」に関する投資一任契約に基づき、ご投資される資金を運用するためのファンドです。
  - 「ゴールベーススラップ専用ファンド」は、想定するリスク水準が低い順に「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」、「レベル4」、「レベル5」の5つのファンドで構成されています。
  - 別に定める上場投資信託証券(ETF)\*を主要投資対象とし、信託財産の成長を目的に運用を行なうことを基本とします。  
※別に定める上場投資信託証券は約款付表をご覧ください。  
各々国内の株式、世界の株式(新興国の企業の発行する株式(新興国株式)を含みます。)、国内の債券、世界の債券(国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債など。世界の高利回り事業債(ハイ・イールド債)および新興国の政府、政府機関、もしくは企業の発行する債券(新興国債券)を含みます。)を実質的な投資対象とするETFおよび不動産や商品などに対するエクスポージャーを持つETFとします。
  - 上場投資信託証券への投資を通じた株式および不動産投資信託証券への投資配分比率の合計は、信託財産の純資産総額に対して下記の比率を中心とすることを原則とします。
- | レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | レベル5 |
|------|------|------|------|------|
| 30%  | 45%  | 65%  | 75%  | 85%  |
- 株式会社ウエルス・スクエア(ウエルス・スクエア)による以下のプロセスに従った助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券および各上場投資信託証券への投資配分比率を決定します。
    - ◆ウエルス・スクエア独自の定量的な手法により、上場投資信託証券が連動することを目指すインデックス等(以下「インデックス」といいます。)を分析し、投資対象とする上場投資信託証券を選定します。なお、分析において為替ヘッジを行なう場合と為替ヘッジを行わない場合では異なるインデックスとして扱います。
    - ◆長期的な見通しを基とした基本投資比率をベースに、短中期的な投資環境およびインデックスのリターン・リスクの特性を勘案して最終的な投資配分比率を決定します。  
なお、一部の上場投資信託証券への投資配分比率がゼロとなる場合があります。
    - ◆投資対象とする上場投資信託証券については、定性評価・定量評価等を勘案し、適宜見直しを行ないます。
  - 組入上場投資信託証券とファンド全体のリスク特性の状況をモニターし、投資配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。  
なお、市況見通しの変化等によっては、適宜リバランスや投資配分比率の見直しを行なう場合があります。
  - 外貨建ての上場投資信託証券に投資する場合は、当該上場投資信託証券に対して為替変動リスクを回避する目的で外国為替予約取引を用いる場合があります。
  - ファンドは、複数の上場投資信託証券(ETF)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
  - 原則、毎年3月29日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。  
資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

投資リスク

各ファンドは、上場投資信託証券への投資を通じて、株式、債券および不動産投資信託証券(REIT)等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落、当該REITの価格下落や、当該株式の発行会社、当該債券の発行体および当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、金価格の変動リスクなどがあります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの純資産総額に以下の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。  「レベル1」:年2.013%(税抜年1.83%)以内(2022年4月12日現在 年2.013%(税抜年1.83%)) ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup> 年2.163%±年0.10% 程度(税込) 「レベル2」:年2.013%(税抜年1.83%)以内(2022年4月12日現在 年2.013%(税抜年1.83%)) ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup> 年2.163%±年0.10% 程度(税込) 「レベル3」:年2.013%(税抜年1.83%)以内(2022年4月12日現在 年2.013%(税抜年1.83%)) ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup> 年2.163%±年0.10% 程度(税込) 「レベル4」:年2.013%(税抜年1.83%)以内(2022年4月12日現在 年2.013%(税抜年1.83%)) ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup> 年2.163%±年0.10% 程度(税込) 「レベル5」:年2.013%(税抜年1.83%)以内(2022年4月12日現在 年2.013%(税抜年1.83%)) ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup> 年2.163%±年0.10% 程度(税込)  (注)ファンドが投資対象とする上場投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 この値は、2022年4月12日現在のものであり、投資対象とする上場投資信託証券の変更等により今後変更となる場合があります。 *ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示していません。 *投資一任契約の締結の媒介、契約資産の運用状況についての定期的な報告、継続的なアフターフォロー等を行なう業者(野村アセットマネジメント株式会社との間で投資一任契約の締結の媒介に係る業務委託契約を締結したものが)が受ける報酬は、当該投資一任契約に基づく投資一任に係る業務等に対するものとして投資信託の委託会社が受ける報酬から、毎月ならびに信託終了のとき支払うものとし、その報酬額は、ファンドの平均純資産総額(日々の純資産総額の平均値)に、年0.80%の率を乗じて得た額とします。 ※委託会社が拠出する資金に対しては支払われません。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.1%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり量が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。 ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図等を行なう者]

<受託会社> 三菱UFJ信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



# ゴールベースラップ専用ファンド

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。